

第2期

運用報告書(全体版)

米国好配当リバランスオープン (資産成長型)

【2025年10月24日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「米国好配当リバランスオープン(資産成長型)」は、2025年10月24日に第2期決算を迎えたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間: 営業日の9:00~17:00)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年10月25日から2045年10月24日までです。	
運用方針	<p>投資信託証券への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数*(円ベース)のリターンを享受することを目指し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>※「クロッキー米国高配当株指数」とは、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法である「クロッキーモデル」に基づき米国を代表する企業の株式から、高配当かつ割安と判断される株式を選定する戦略のリターンを反映する指数です。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundおよびマネー・インベストメント・マザーファンドIIを主要投資対象とします。
	Collis Trust - C R O C I U S D i v i d e n d E q u i t y F u n d	担保付スワップ取引を主要投資対象とします。
	マネー・インベストメント・マザーファンドII	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	<p>毎年10月24日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。なお、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額				クロッキー米国高配当株指数（円ベース） (参考指数)	債券組入比率	投資信託券組入比率	純資産額
	税分	込分配	み分配金	期騰落率				
(設定日) 2023年10月25日	円 10,000	円 —	% —	ポイント 65,887.31	% —	% —	% —	百万円 1,029
1期(2024年10月24日)	12,143	0	21.4	82,486.29	25.2	0.2	99.4	9,176
2期(2025年10月24日)	12,172	0	0.2	84,784.29	2.8	0.1	99.0	7,908

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産額は当初設定元本。

(注) クロッキー米国高配当株指数（円ベース）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。クロッキー米国高配当株指数（円ベース）は、当該日前営業日の終値です。（以下同じ。）

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

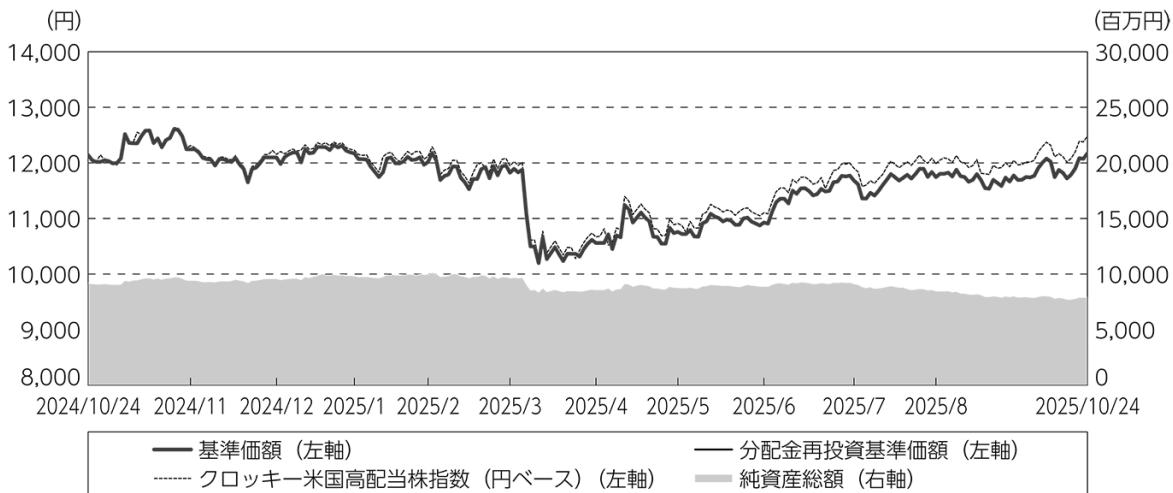
年月日	基準価額		クロッキー米国高配当株指数（円ベース） (参考指数)	債券組入比率	投資信託券組入比率
	騰	落			
(期首) 2024年10月24日	円 12,143	% —	ポイント 82,486.29	% —	% 0.2
10月末	12,032	△ 0.9	81,754.46	△ 0.9	0.1
11月末	12,245	0.8	83,625.54	1.4	0.1
12月末	12,098	△ 0.4	82,554.53	0.1	0.1
2025年1月末	12,172	0.2	83,057.03	0.7	0.1
2月末	12,016	△ 1.0	82,319.86	△ 0.2	0.1
3月末	11,824	△ 2.6	81,182.16	△ 1.6	0.1
4月末	10,559	△13.0	72,463.55	△12.2	0.1
5月末	10,758	△11.4	74,110.94	△10.2	0.1
6月末	10,927	△10.0	75,417.06	△ 8.6	0.1
7月末	11,681	△ 3.8	80,859.23	△ 2.0	0.1
8月末	11,745	△ 3.3	81,452.06	△ 1.3	0.1
9月末	11,694	△ 3.7	81,281.88	△ 1.5	0.1
(期末) 2025年10月24日	12,172	0.2	84,784.29	2.8	0.1

(注) 謄落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年10月25日～2025年10月24日)



期 首：12,143円

期 末：12,172円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率： 0.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）です。

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2024年10月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象は「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」です。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」は主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー米国高配当株指数（円ベース）」のリターンを享受することを目指します。以下は、「クロッキー米国高配当株指数」の主なプラス要因およびマイナス要因を記載しております。

（主なプラス要因）

- セクター別では、一般消費財・サービスや資本財・サービスなどが基準価額にプラスに寄与しました。
- 個別銘柄では、バイオ医薬品メーカーのギリアド・サイエンシズやエンジンメーカーのカミングスなどが基準価額にプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- セクター別では、生活必需品やエネルギーなどが基準価額にマイナスに影響しました。
- 個別銘柄では、ディスカウント小売店のターゲットや加工食品企業のゼネラル・ミルズなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

(2024年10月25日～2025年10月24日)

米国株式市場は、期初から2024年の年末にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）における利下げ期待を背景に株価は上昇基調が続きました。11月上旬の米大統領選挙では、大統領職と上下両院の多数派を共和党が占める「トリプルレッド」の結果となったことを好感する動きが見られました。2025年に入ってからは高値圏でもみ合う動きが続きましたが、2月中旬から4月上旬にかけてはトランプ大統領の関税政策への懸念から株価は下落する展開となりました。しかし、4月中旬から5月にかけては、米政権が各国との通商交渉を重視する姿勢を示したことから、貿易摩擦への懸念が後退し、株価は戻りを試す展開となりました。その後、景気減速懸念や一部の米地方銀行の信用懸念から株価の調整が見られたものの、利下げ期待や企業決算が好調に推移するとの期待を背景に、上昇基調が期末にかけて続きました。

為替（米ドル／円）は、期初から2025年4月中旬にかけては、米国の景気悪化懸念が高まる中、日銀の追加利上げ観測が強まることなどから下落しました。4月下旬から期末にかけては、インフレ圧力の高まりを背景に米金利が上昇したことや米国が日本や欧州連合（EU）と関税交渉の合意に至ったことなどを背景に、米ドル／円は上昇する展開となりました。

国内短期金融市場では、日銀による早期追加利上げへの観測が強まる中、2025年1月には実際に追加利上げが実施されたことなどを受けて、1年国債利回りは3月にかけて大きく上昇しました。その後、4月上旬のトランプ米政権による相互関税の発動などを背景に、利回りは上昇幅を縮小する場面も見られました。しかし、7月の参院選で与党が過半数を割り込んだことや日米関税交渉が合意に至ったこと、日銀の追加利上げが意識されたことから1年国債利回りは再び上昇基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年10月25日～2025年10月24日)

<米国好配当リバランスオーブン（資産成長型）>

「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」、「マネー・インベストメント・マザーファンドII」を主要投資対象とし、「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指しました。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」の組入比率は高位を維持しました。

○Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

主としてスワップ取引を通じて、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指しました。なお、2025年10月24日時点のクロッキー米国高配当株指数の構成銘柄数は53銘柄、実績平均配当利回りは3.7%となりました。

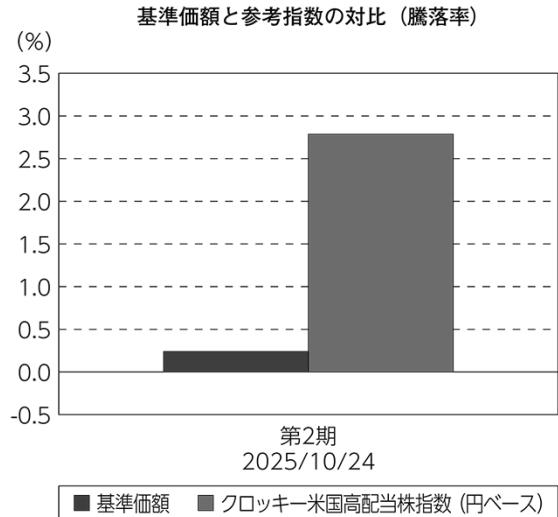
○マネー・インベストメント・マザーファンドII

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年10月25日～2025年10月24日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参照指標は、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）です。

分配金

(2024年10月25日～2025年10月24日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたします。なお、収益分配に充てなかつた留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期	
	2024年10月25日～ 2025年10月24日	—%
当期分配金 (対基準価額比率)	—	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,171	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

今後の米国株式市場は、高値圏で一進一退の展開を予想します。良好な企業業績や利下げ期待が株価の下支え要因として働くことが期待される一方で、既往の上昇ペースが速いことから短期的には株価の過熱感が意識されやすいと見ています。リスク要因はプライベートクレジット市場の動向です。仮にプライベートクレジット市場で信用懸念が広がっていくような場合には、金融システム不安への警戒感が高まり、市場心理の悪化から株価が調整する可能性も考えられます。

米ドル／円相場は上昇基調が継続すると予想します。米連邦準備制度理事会（F R B）の利下げは日米金利差の縮小につながるでしょうが、一方で米国株を下支えすると期待されます。米国株が堅調に推移すれば、国内の投資家による米国株への投資意欲は継続し、それは米ドル／円の上昇要因になると考えます。

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げ観測が残ることから、1年国債利回りには上昇圧力が掛かる展開を想定しています。

（運用方針）

＜米国好配当リバランスオーブン（資産成長型）＞

当ファンドの主要投資対象である「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」への投資を通じて、米国の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指します。「Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund」の組入比率は高位に保つことを基本としますが、市況環境等によっては組入比率が高位に保たれない場合があります。

○Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

主としてスワップ取引を通じて、クロッキー米国高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指します。

○マネー・インベストメント・マザーファンドII

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年10月25日～2025年10月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 150	% 1.287	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(45)	(0.385)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(102)	(0.880)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.013	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	152	1.300	
期中の平均基準価額は、11,645円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

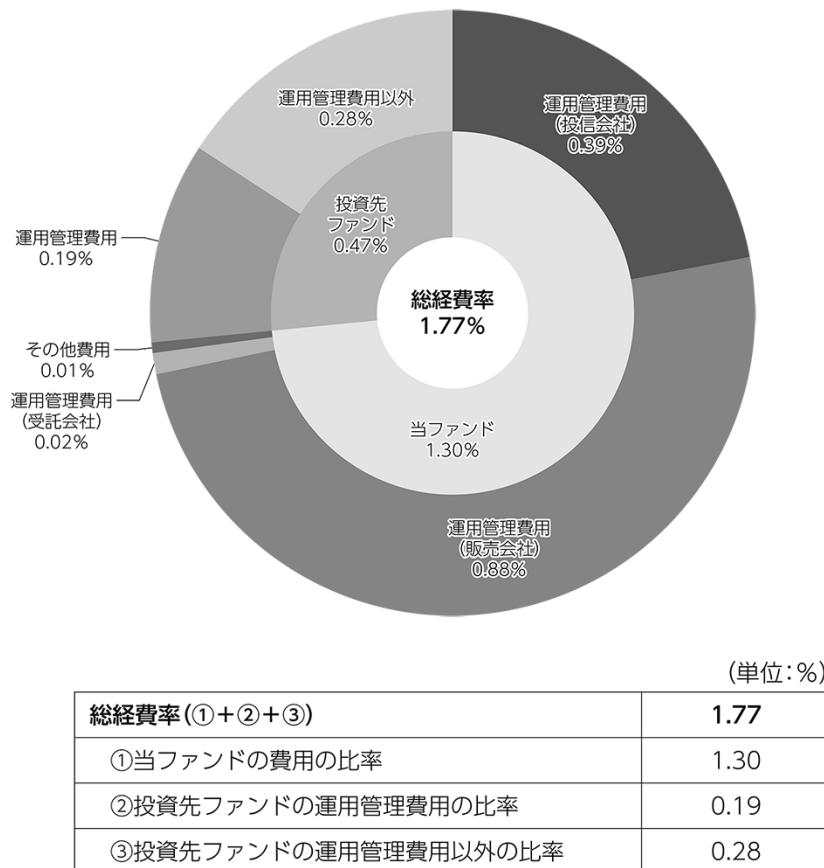
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用において、投資先ファンドにて行われる担保付スワップ取引における指數手数料は、総経費率の計算に含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年10月25日～2025年10月24日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内 Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	口 160,892	千円 1,844,900	口 252,347	千円 2,815,900

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・インベストメント・マザーファンドII	千口 2,476	千円 2,475	千口 10,461	千円 10,468

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月25日～2025年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年10月24日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)	当期末			比率
		口数	口数	評価額	
Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	口 770,487	口 679,031	千円 7,829,916		% 99.0
合計	770,487	679,031	7,829,916		99.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・インベストメント・マザーファンドII	千口 16,429	千口 8,444	千円 8,471

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年10月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 7,829,916	% 97.9
マネー・インベストメント・マザーファンドII	8,471	0.1
コール・ローン等、その他	159,721	2.0
投資信託財産総額	7,998,108	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年10月24日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	7,998,108,640
投資信託受益証券(評価額)	124,719,690
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ(評価額)	7,829,916,317
未収入金	8,471,316
未収利息	35,000,000
(B) 負債	1,317
未払解約金	89,156,205
未払信託報酬	33,068,530
その他未払費用	55,518,318
(C) 純資産総額(A-B)	569,357
元本	7,908,952,435
次期繰越損益金	6,497,747,761
(D) 受益権総口数	1,411,204,674
1万口当たり基準価額(C/D)	12,172円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2172円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は7,557,119,337円、期中追加設定元本額は2,749,448,870円、期中一部解約元本額は3,808,820,446円です。

○損益の状況（2024年10月25日～2025年10月24日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	306,242,916
受取利息	305,827,398
(B) 有価証券売買損益	415,518
売買益	△ 88,705,567
売買損	211,022,853
(C) 信託報酬等	△ 299,728,420
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 117,569,375
(E) 前期繰越損益金	99,967,974
(F) 追加信託差損益金	617,803,992
(配当等相当額)	693,432,708
(売買損益相当額)	(331,441,956)
(G) 計(D+E+F)	(361,990,752)
(H) 収益分配金	1,411,204,674
次期繰越損益金(G+H)	0
追加信託差損益金	1,411,204,674
(配当等相当額)	693,432,708
(売買損益相当額)	(331,443,585)
分配準備積立金	(361,989,123)
繰越損益金	806,518,381
	△ 88,746,415

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第2期
(a) 配当等収益(費用控除後)	188,714,389円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	604,686,293円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	617,803,992円
分配対象収益(a+b+c+d)	1,411,204,674円
分配対象収益(1万口当たり)	2,171円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2025年4月1日）
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2025年10月24日現在)

<マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ>

下記は、マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ全体(104,990千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
			%	%	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	45,000	44,960	42.7	—	—	—	42.7
特殊債券 (除く金融債)	(45,000)	(44,960)	(42.7)	(—)	(—)	(—)	(42.7)
	21,000	20,997	19.9	—	—	—	19.9
合 計	(21,000)	(20,997)	(19.9)	(—)	(—)	(—)	(19.9)
	66,000	65,958	62.6	—	—	—	62.6
	(66,000)	(65,958)	(62.6)	(—)	(—)	(—)	(62.6)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評価額	償還年月日	
国債証券	%	千円	千円		
第1270回国庫短期証券	—	10,000	9,996	2025/11/20	
第1333回国庫短期証券	—	10,000	9,992	2025/12/22	
第1335回国庫短期証券	—	15,000	14,983	2026/1/13	
第1339回国庫短期証券	—	10,000	9,987	2026/1/26	
小 計		45,000	44,960		
特殊債券(除く金融債)					
第258回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.386	5,000	4,999	2025/10/31	
第261回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.381	10,000	9,999	2025/11/28	
第79回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.379	6,000	5,998	2025/12/12	
小 計		21,000	20,997		
合 計		66,000	65,958		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

<参考情報>

Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund

<当ファンドの仕組みは次の通りです>

ファンドの形態	ケイマン籍円建て外国投資信託
運用会社	IQ EQ Fund Management (Ireland) Limited
基本方針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー米国高配当株指数（以下”米国高配当株指数”といいます）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。
投資対象	担保付スワップ取引を主要投資対象とします。
投資態度	ドイツ銀行を取引相手とする担保付スワップ取引により米国高配当株指数への実質的な投資を行います。
主な投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 原則として担保付スワップ取引を主要投資対象とします。 有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
運用報酬等	<p>純資産総額に対し年率0.19%程度。</p> <p>Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundの報酬には、運用会社、受託会社、管理事務代行会社への報酬が含まれます。</p> <p>ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、運用会社に対し年90,000ユーロ、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。</p>
指數手数料	年率0.50%
	Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fundにて行われる担保付スワップ取引において、年率0.50%が指數手数料として当該スワップ取引の日々の評価額から差し引かれます。
その他費用	海外における資産の保管等に要する費用、監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

以下は、Collis Trust-CROCI US Dividend Equity Fundの監査済報告書の一部を、SBI岡三アセットマネジメントが翻訳したものです。SBI岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

損益計算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
(単位：円)

投資収益	
投資収益合計	
費用	
支払利息	90,616,392
運用報酬	48,366,194
管理者報酬	31,534,153
専門家報酬	10,506,035
名義書換代理人手数料	6,112,431
受託者報酬	5,554,936
その他費用	12,469,142
費用合計	205,159,283
純投資損益	
	△ 205,159,283
実現損益および未実現評価損益：	
純実現損益の内訳：	
ストラクチャード商品への投資	2,047,926,019
外貨取引	△ 65,332
純実現損益	2,047,860,687
未実現評価損益の純増減の内訳：	
ストラクチャード商品への投資	24,686,524
外貨取引	△ 25,991
未実現評価損益の純増減	24,660,533
純実現損益および未実現評価損益	
	2,072,521,220
運用による純資産の純増減	
	1,867,361,937

投資明細表

2025年3月31日現在

ストラクチャード商品	銘柄	国名	数量	純資産比率	公正価値
株式バスケット・スワップ取引*					
トータル・リターン・スワップ		米国	674,667	101.29%	¥ 54,707,154,816
ストラクチャード商品合計 (取得原価 51,535,108,410円)					54,707,154,816
投資総額 (原価 51,535,108,410円)				101.29%	¥ 54,707,154,816

*当ファンドは、ドイツ銀行との全額出資のパフォーマンス・スワップを通じて、株式バスケット・スワップ取引に対する想定エクスポートジャーを有しています。

マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ
第3期 運用状況のご報告
決算日：2025年9月29日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	債組入比率		債先物比率	純資産額
		期騰	中落率		
(設定日) 2022年9月21日	円 10,000	% —	% —	% —	百万円 12
1期(2023年9月27日)	9,994	△0.1	98.0	—	26
2期(2024年9月27日)	9,996	0.0	84.0	—	97
3期(2025年9月29日)	10,029	0.3	78.7	—	109

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) 当ファンドは、特定の指數を上回るまたは運動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指數を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

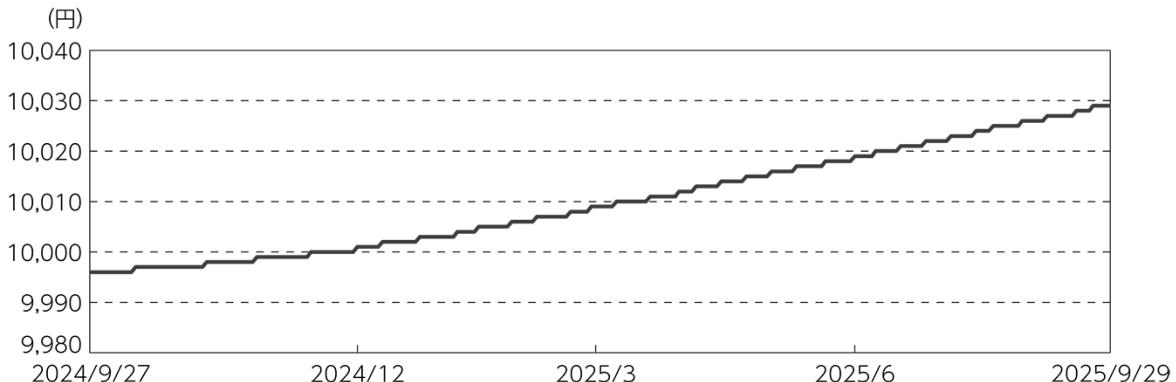
年月日	基準価額	債組入比率		債先物比率	純資産額
		騰	落率		
(期首) 2024年9月27日	円 9,996	% —	% —	% 84.0	% —
9月末	9,996	0.0	—	78.8	—
10月末	9,997	0.0	—	66.6	—
11月末	9,999	0.0	—	86.1	—
12月末	10,001	0.1	—	74.9	—
2025年1月末	10,003	0.1	—	83.3	—
2月末	10,006	0.1	—	89.5	—
3月末	10,009	0.1	—	95.0	—
4月末	10,012	0.2	—	78.1	—
5月末	10,015	0.2	—	65.2	—
6月末	10,019	0.2	—	60.4	—
7月末	10,022	0.3	—	74.1	—
8月末	10,026	0.3	—	60.4	—
(期末) 2025年9月29日	10,029	0.3	—	78.7	—

(注) 謄落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年9月28日～2025年9月29日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・安定的な利息収入がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

投資環境

(2024年9月28日～2025年9月29日)

国内短期金融市場では、日銀による早期追加利上げへの観測が強まる中、2025年1月には実際に追加利上げが実施されたことなどを受けて、1年国債利回りは3月にかけて大きく上昇しました。その後、4月上旬のトランプ米政権による相互関税の発動などを背景に、利回りは一時的に上昇幅を縮小する場面も見られました。しかし、7月の参議院選挙で与党が過半数を割り込んだことや日米関税交渉が合意に至ったこと、日銀の追加利上げが意識されたことから1年国債利回りは再び上昇基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年9月28日～2025年9月29日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げ観測が残ることから、1年国債利回りには上昇圧力が掛かる展開を想定しています。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2024年9月28日～2025年9月29日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年9月28日～2025年9月29日)

公社債

		買付額	売付額
国 内	国債証券	千円 59,944	千円 — (15,000)
	特殊債券	85,021	— (126,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月28日～2025年9月29日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2025年9月29日現在)

○組入資産の明細

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	50,000	49,978	45.7	—	—	—	45.7
	(50,000)	(49,978)	(45.7)	(—)	(—)	(—)	(45.7)
特殊債券 (除く金融債)	36,000	35,996	32.9	—	—	—	32.9
	(36,000)	(35,996)	(32.9)	(—)	(—)	(—)	(32.9)
合 計	86,000	85,974	78.7	—	—	—	78.7
	(86,000)	(85,974)	(78.7)	(—)	(—)	(—)	(78.7)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第1270回国庫短期証券	—	10,000	9,993	2025/11/20
第1316回国庫短期証券	—	15,000	14,998	2025/10/6
第1320回国庫短期証券	—	15,000	14,996	2025/10/20
第1333回国庫短期証券	—	10,000	9,989	2025/12/22
小 計		50,000	49,978	
特殊債券(除く金融債)				
第256回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.425	15,000	14,999	2025/9/30
第258回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.386	5,000	4,999	2025/10/31
第261回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.381	10,000	9,999	2025/11/28
第79回政府保証地方公共団体金融機関債券	0.379	6,000	5,997	2025/12/12
小 計		36,000	35,996	
合 計		86,000	85,974	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年9月29日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 85,974	% 78.7
コール・ローン等、その他	23,325	21.3
投資信託財産総額	109,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月29日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 109,299,732
コール・ローン等	23,270,023
公社債(評価額)	85,974,828
未収利息	54,881
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	109,299,732
元本	108,979,071
次期繰越損益金	320,661
(D) 受益権総口数	108,979,071口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,029円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0029円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は97,769,950円、期中追加設定元本額は56,877,249円、期中一部解約元本額は45,668,128円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

米国好配当リバランスオーブン (年4回決算型)	51,857,275円
インド・イノベーション・フォーカスファンド	24,081,628円
三井フレドリック・グローバル・コア株式ファンド(積み立て型)(愛称 ザ・ディスカバー)	18,304,450円
米国好配当リバランスオーブン (資産成長型)	11,435,621円
三井フレドリック・グローバル・コア株式ファンド(積み立て型)(愛称 ザ・ディスカバー)	3,300,097円

○損益の状況 (2024年9月28日～2025年9月29日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	円 422,942
受取利息	422,942
(B) 有価証券売買損益	△ 83,204
売買益	21,095
売買損	△104,299
(C) 当期損益金(A+B)	339,738
(D) 前期繰越損益金	△ 39,577
(E) 追加信託差損益金	10,682
(F) 解約差損益金	9,818
(G) 計(C+D+E+F)	320,661
次期繰越損益金(G)	320,661

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日: 2025年4月1日)